

第 11 回 春日山原始林保全計画検討委員会 議事要旨

日 時：平成30年3月22日（木） 10時00分～12時00分

場 所：奈良春日野国際フォーラム 本館 会議室 1

出席者：委 員 長 吉田 博宣

副 委 員 長 山倉 拓夫

委 員 佐野 純子、田中 和博、前迫 ゆり、松井 淳

オブザーバー 春日大社、春日山原始林を未来へつなぐ会

事 務 局 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局奈良公園室

関 係 部 局 《 奈 良 県 》 景 観 ・ 自 然 環 境 課、 森 林 整 備 課、

森林技術センター、奈良公園事務所、

文化財保存課

《 関 係 機 関 》 林 野 庁 奈 良 森 林 管 理 事 務 所、 奈 良 市 景 観 課、

奈良市文化財課

報告 （1）春日山原始林保全再生事業の進捗状況について

（2）春日山原始林保全再生事業に関する普及啓発資料の作成について

- ・普及啓発において、春日山原始林の貴重さや、シカと森との関係性等に関する情報発信や、海外への情報発信等について、引き続き検討すること。

議題 （1）春日山原始林におけるナラ枯れ対策について

（2）春日山原始林における後継樹育成について

議事要旨

（1）今後のナラ枯れ対策について

- ・今後5か年のスケジュールにおいて、ナラ枯れで大径木が枯死した後の、更新を促すための方策についても検討すること。
- ・薬剤注入を行う対象木の優先順位について、立地、樹種、樹齢などの要因も含めて、引き続き検討を行うこと。

（2）今後の後継樹育成方策について

- ・春日山原始林には、カシ類、コジイ以外に、落葉広葉樹が混生する多様性の高い森林であるという特徴があり、後継樹の育成に当たっては、この特徴を踏まえて、総合的な観点から今後の方向性について検討すること。